

平成24年度 青少年健全育成事業

夢プラン21事業報告書



田代小学校の子どもたち（8月18日 BAスタジアム）



基里中学校の子どもたち（11月24日 BAスタジアム）

鳥栖市・夢プラン21実行委員会

はじめに

鳥栖市では、次世代を担う子どもたちが地域の人々の支援を受けながら夢をかなえるプロセスを経験することによって、充実感や達成感を得るという形で、健やかな成長を支援するとともに、希薄化する世代間交流や地域交流につなげようと、平成17年度から青少年健全育成事業「夢プラン21」を実施しています。

8年目となる今年度は、小・中学生からあわせて92件の応募があり、実行委員会で「鳥栖市の歌『虹の橋の向こうへ』をベアスタでサポーターやお客さんと一緒に大合唱して、被災地に元気を届けたい」と「サガン鳥栖の応援歌（チャント）を作って、鳥栖をもっと元気にしたい」の2つの夢を採択しました。子どもたちは、「てだすけ隊」の田代小学校保護者、サガン鳥栖サポーターの支援を受けながら、夢実現に向けた取組を実施しました。

この冊子は、その活動報告をまとめたものです。青少年健全育成への取組や、世代間交流、地域交流の活性化に向けて活動する方々の参考にさせていただき、「みんなで築く市民協働のまちづくり」へとつながっていく足掛かりになることを願います。

目 次

	ページ
1. 青少年健全育成事業「夢プラン21」事業概要	2
2. 夢プラン21実行委員会審査経過	3
3. 採用された夢	3
4. 「虹の橋の向こうへ」ベアスタ大合唱 事業経過概要	4
5. サガン鳥栖チャント作り 事業経過概要	6
6. 夢プラン21事業を終えて	8
7. 資料	
(ア) 夢プラン21実行委員会概念図	10
(イ) 夢プラン21実行委員会委員名簿	11
(ウ) 活動記録(写真)	12
(エ) 夢プラン21サガン鳥栖チャント歌詞	14

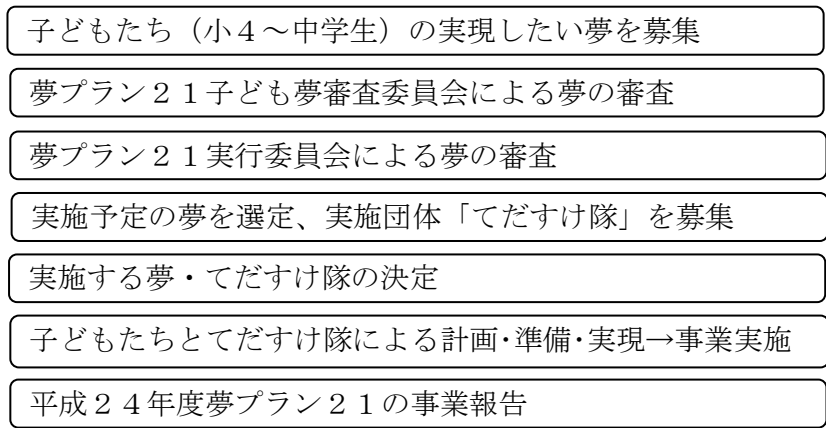
青少年健全育成事業「夢プラン21」24年度事業概要

■ 趣旨

次世代を担う子どもたちが、地域の人々の支援を受けながら「夢」を実現するプロセスを通じて充実感や達成感を得ることによる、子どもたちの健やかな成長を支援するとともに、希薄化する世代間交流や地域交流の活性化につなげる。

子どもから応募があった夢を、子ども夢審査委員会・実行委員会で審査決定後、市民協働の視点から実施団体である「てだすけ隊」を公募し、市民活動団体等が主体となって、夢実現のための支援を行う。

■ 事業概要



- 主 催：夢プラン21実行委員会・鳥栖市
*夢プラン21実行委員会→夢の審査及び実施団体決定・支援
*子ども夢実現隊+てだすけ隊→事業実施
- 期 間：平成24年度中
- 事 業 費：50万円（総額）

■ 夢の選考基準

- 期 間：原則年度内に実現できるもの
- 場 所：鳥栖市内で実現できるもの
- 経 費：50万円を限度に実現できるもの
- 上記以外の選考基準：
- ・アドバイスを受けながら、子どもたちが自主的に考えて実現できるもの
 - ・子どもたちが集団で参加できるもの
 - ・独創的でこれまで夢プラン21で実現できていないもの
 - ・社会参加により社会の制度や常識を習得できるもの



■ 期待する効果

- 子どもたちが夢を実現する過程で、社会との関わりを深めることへの充実感や達成感を得ることによる、子どもたちの自主性、協調性の育成
- 市民活動団体の社会貢献活動参加の促進と市民活動団体等の育成支援
- 大人と子どもの世代間交流の実現、また、子どもと大人が協力しながら夢を実現することによる市民協働のまちづくりへの意識付け
- 地域や市民活動団体等の参加による地域活動の活性化と市民協働のまちづくりの実現

夢プラン2 1 実行委員会審査経過

期 日	会 議 等	概 要
平成24年 4月2日～ 4月23日	“夢”の募集	小学生から38件、中学生から54件、計92件の“夢”の応募を受付ける。
5月9日	子ども夢審査委員会	子どもの視点で ①やる気が感じられる ②いろいろな人が関われる ③計画性がある の3点について点数付けをし、夢をランク付け。
5月14日	第1回実行委員会	子ども夢審査委員会の審査結果と実行委員の審査資料をもとに、てだすけ隊を募集する夢の絞込み。
5月29日	第2回実行委員会	夢を応募した子どもへの聞き取り結果をもとに、てだすけ隊を募集する夢を決定。
6月15日～ 6月29日	「てだすけ隊」の募集	市報、市公式ホームページにて募集。
7月4日	「夢プラン2 1」採用決定 通知書交付式	採用された2件の夢について、応募した子どもたちへ採用決定通知書を交付。
平成25年 2月25日	第3回実行委員会	

採用された夢

夢 概 要 (夢の応募者)	子ども夢実現隊	てだすけ隊	事業実施内容
「鳥栖市の歌『虹の橋の向こうへ』をベアスタでサポーターやお客さんと一緒に大合唱して、被災地に元気を届けたい」 (田代小6年 中島唯)	田代小学校	田代小学校てだすけ隊	東日本大震災被災地を元気づけるために、鳥栖市の歌「虹の橋の向こうへ」をベストアメニティストジアムで大合唱する。また、あわせて被災地支援の募金活動を行う。
「サガン鳥栖の応援歌(チャント)を作って、鳥栖をもっと元気にしたい」 (基里中1年 川口菜々子)	基里中学校	サガン鳥栖サポーター	みんなでもっと楽しくサガン鳥栖を応援するために、サガン鳥栖の応援歌(チャント)を作る。

夢プラン21「鳥栖市の歌『虹の橋の向こうへ』をベアスタでサポーター やお客さんと一緒に大合唱して、被災地に元気を届けたい」事業経過概要

活動期間：平成24年7月～平成24年8月
 子ども夢実現隊：田代小学校（夢プラン21実現隊）
 てだすけ隊：田代小学校てだすけ隊

1. 作業工程

作業日程・場所等	作業内容
7月上旬 田代小学校	被災地を元気づけるための取組について話し合い *大合唱とともに、被災地支援の募金活動実施を決定
7月上旬 田代小学校	鳥栖市民デーにおける大合唱イベントPRチラシ作成 (チラシは鳥栖市内小中学生へ配布)
7月中旬 田代小学校	「虹の橋の向こうへ」合唱練習
7月下旬 田代小学校	大合唱イベントPRポスター作成（19枚） 被災地支援募金活動の募金箱制作（11箱）
7月26日 田代小学校	鳥栖中学校合唱部生徒と合同で「虹の橋の向こうへ」合唱練習
7月29日 鳥栖市中央公園	まつり鳥栖ステージに出演し、大合唱イベントPR
8月1日 鳥栖市内	市内商店街店舗へ大合唱イベントPRポスター掲示
8月7日 田代小学校	大合唱イベントPR映像制作 (イベント当日スタジアム大型ビジョンにて放映)
8月9日 鳥栖市内	JR鳥栖駅・フレスポ鳥栖にて大合唱イベントPRチラシ配布
8月16日 鳥栖市内	JR鳥栖駅・フレスポ鳥栖にて大合唱イベントPRチラシ配布
8月18日 ベストアメニティ スタジアム (鳥栖市民デー)	①田代小学校と鳥栖中学校の子どもたち約150人が、スタジアムピッチ上で、ケイタクと一緒に「虹の橋の向こうへ」を大合唱 ②スタジアムゲートにて被災地支援の募金活動
8月23日 鳥栖市陸上競技場	サガン鳥栖選手へ募金の受け渡し *募金はJリーグを通じて被災地のサッカー復興支援に寄付

2. 反省点

- ◇ PRチラシを配るときに、恥ずかしがらず、もっと積極的に配ればよかった。
- ◇ 募金活動のときに、もっと大きな声で、みんなで声を合わせて「募金お願いします」と言えばよかった。
- ◇ ピッチに入場するときに、恥ずかしがったり、ダラダラ歩いたりしてしまった。もっとテキパキ行動すればよかった。
- ◇ 歌を歌うときに、もっと笑顔で、もっと手を振ればよかった。

3. 夢プラン21への意見

- ◇ 自分たちで積極的に活動し、夢をかなえるのは、とてもいいことだと思う。
- ◇ 子どもだけでは実現できないことも、大人の方が手伝ってくれたから実現できたと思う。
- ◇ これからも夢プランを続けてほしい。子どもたちの夢を実現させながら、周りの人がもっと元気になればいいと思う。

4. 夢に取り組んだ感想

- ◇ たくさんの方が募金に協力してくれて、歌い終わったら大きな拍手をくれた。「やってよかった」と達成感があったし、すごく人の温もりを感じた。
- ◇ いろいろな人たちに協力してもらったおかげで実現できた夢だったと、改めて思った。
- ◇ 8月18日に向けて、募金箱やポスターをみんなで一つ一つ手作りしていくことがとても楽しかったし、ワクワクした。
- ◇ 準備から始めて、どんどん夢に近づいていったので、取り組んでいてとても楽しかった。
- ◇ いろんなことに積極的に取り組めた。日本に勇気を与えることができたと思う。
- ◇ 私たちの取組で、周りの人たちが笑顔になってくれていたのでうれしかった。
- ◇ また機会があれば、もう一度やってみたいと思った。



©サガン・ドリームス



小中学生配布チラシのイラスト

夢プラン2 1「サガン鳥栖の応援歌（チャント）を作って、鳥栖をもっと元気にしたい」事業経過概要

活動期間：平成24年8月～平成24年11月
 子ども夢実現隊：基里中学校（夢プラン2 1 実現隊）
 てだすけ 隊：サガン鳥栖サポーター

1. 作業工程

作業日程・場所等	作業内容
8月～9月 基里中学校	チャント制作作業 *市報、市ホームページにて意見を募集し、寄せられた意見を参考にしながら制作。
10月 基里中学校	チャント振り付け考案、チャント練習
10月31日 基里中学校	基里中学校文化発表会にてチャント披露
11月7日 基里中学校	チャントPR動画撮影、市ホームページに動画掲載
11月24日 ベストアメニティ スタジアム	サガン鳥栖ホームゲーム最終戦（vs.浦和レッズ） スタジアムサポーター席にてチャント披露



基里中オリジナル応援Tシャツ
デザインイラスト



2. 反省点

- ◇ もっと練習して、みんなで会場をもっともっと盛り上げられる工夫ができたならもっとよかったと思う。
- ◇ 恥ずかしがらずに、もっと大きな声で歌っていれば、もっといい応援ができた。
- ◇ もっとテキパキ行動すればよかった。

3. 夢プラン21への意見

- ◇ 自分たちの夢がかなうのはうれしい。不安や心配もあるけど、いろいろな人に協力してもらえるところがいいと思うし、仲間と協力して絆が深まる。また、たくさんの人と交流していく中で、関係が築ける。とてもいい取組だと思う。
- ◇ 夢プランは、鳥栖の人が笑顔になれる、楽しめるものだと思う。こういう取組をする鳥栖ってすごいなー、ステキだなーと思う。
- ◇ きちんと日程を立てて、夢を実現させることは素晴らしいことだと思う。
- ◇ 自分たちの夢がかなえられて、いい経験になる。これからも続けてほしい。
- ◇ 鳥栖を盛り上げるために大切な取組だと思う。いろいろな人に夢プランを経験してもらいたい。

4. 夢に取組んだ感想

- ◇ とても楽しかった。最初は不安ばかりあったけど、周りのみんなも協力してくれたし、学校の先輩や先生、家族、地域の皆さんに「頑張ってね！」と声をかけてもらって、勇気が出た。夏から11月24日まで、計画をコツコツクリアしていく中で、確認ミスや練習時間が減ったこともあったけど、最後はみんなで団結できてよかった。基里中50名が、お揃いのオリジナルTシャツを着てスタジアムでチャントを披露した瞬間は、貴重な体験で、みんながまとまった一瞬でもあり、とてもよかった。
- ◇ 夢が実現してよかったと思うし、これからも夢を追いかけたい！
- ◇ いろいろな経験ができたし、サガン鳥栖のファンの方々にも喜んでもらったので、「やってよかった」と思った。
- ◇ たくさんの方々が協力してくれたから、夢プランが完成できたと思う。
- ◇ 最終戦当日、一緒にチャントを歌ってもらおうとお客さんに呼びかけると、「頑張ってね」「ありがとう」などと声をかけてもらえてうれしかった。歌う本番は盛り上がり、お客さんが手拍子をしてくれたり、一緒に歌ってくれたりして、すごくうれしかった。心に残る、とてもいい経験になった。
- ◇ これまではサッカーにあまり興味がなかったけど、この取組に参加して、サッカーやサガン鳥栖に興味を持った。初めてのサッカー観戦はすごく楽しかったし、ぜひまた観に行きたい。参加してよかった！
- ◇ 試合も勝利できたので、応援が届いたと思うと、とてもうれしい。
- ◇ 夢プランのために、私たちのために、サポーター席の場所を空けてくれたサポーターの方々に感謝の気持ちでいっぱいだ。

夢プラン21事業を終えて

今年度の「夢プラン21」では、“歌で応援したい”という気持ちで共通する2つの夢の実現に取り組みました。

田代小学校の子どもたちは、今もなお大変な思いをされている東日本大震災被災地の方々を元気づけたいと思い、スタジアムに集まった大勢の人たちと一緒に、被災地の復興を願って「虹の橋の向こうへ」を大合唱する夢を掲げてくれました。夏休みに学校へ集まって募金箱を一つ一つ手作りしたり、鳥栖中学校合唱部の子どもたちと合同で合唱練習をしたり、手作りのポスターを貼ってもらおうと商店街の各店舗にお願いに回ったり、夏の暑い中、みんなで協力しながら頑張りました。8月18日のサガン鳥栖ホームゲーム戦では、スタジアムピッチで元気な歌声を披露するとともに、被災地支援の募金活動を行いました。スタジアムに集まった多くの方々から温かい拍手や声援をいただき、子どもたちは充実感と達成感で満たされていました。

基里中学校の子どもたちは、サガン鳥栖のJ1昇格をきっかけに、サガン鳥栖の応援歌（チャント）を作って、応援を盛り上げる夢を掲げてくれました。子どもたちは、一般の方から寄せられた意見を参考にしながら、夏休みからチャント作りに取り組みました。また、取組を通して、これまで知らなかったサガン鳥栖の歴史を知った子どもたちは、地域の誇りであるサガン鳥栖をもっともっと盛り上げたいと、改めて感じたようでした。11月24日の最終戦では、スタジアムいっぱいの大観衆を前に、子どもたちは少し緊張していたようでしたが、サガン鳥栖サポーターの後押しを受け、堂々とチャントを披露することができました。

仲間と協力すること、大人に協力してもらうこと、初めての体験を含め、たくさんのかたちを経験した子どもたちは、また一回り大きく成長できたことでしょうか。そして、子どもたちの夢が、多くの人たちに元気を与えてくれたのではないかと思います。

今年度で「夢プラン21」も8年目を迎えることができました。

夢プラン21事業は、市民協働のまちづくりの一翼を担う形へと変貌を遂げ続けています。地域の大人の支援を受けながら夢を実現していくプロセスは、子どもたちだけで完成した夢よりも、子どもたちの心に深く思い出として刻まれることでしょうか。また、達成感に満たされた子どもたちの笑顔や「ありがとう」の感謝の言葉は、関わった大人たちの胸にも深く刻まれることと思います。こうした世代間交流は、人と人とのつながりが薄れつつある地域に活気をもたらし、自然と“おかげさま、おたがいさま”の気持ちが溢れる地域へとつながり、様々な地域課題解決を達成していくまちへと発展していくのではないのでしょうか。

最後になりましたが、この事業にご協力いただきました多くの企業・団体・ボランティアの方々・市民の皆様に対し、この場を借りましてお礼申し上げます。

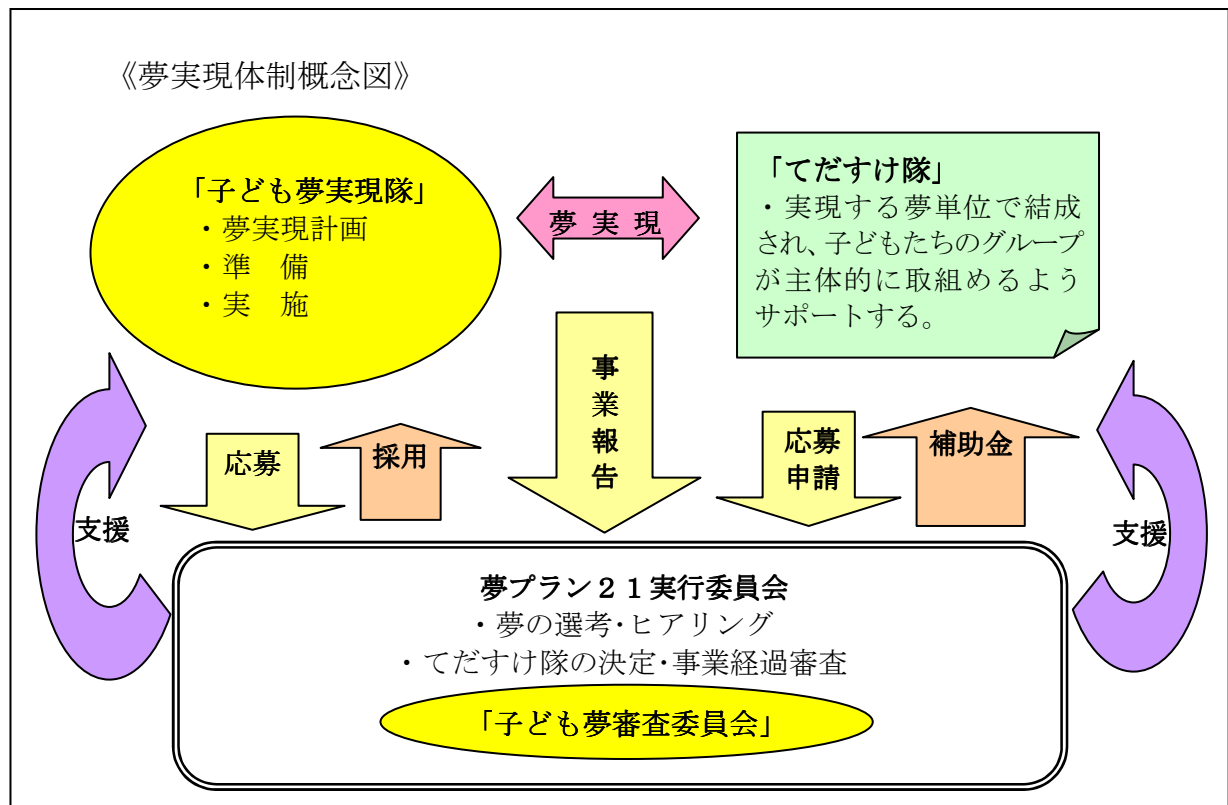
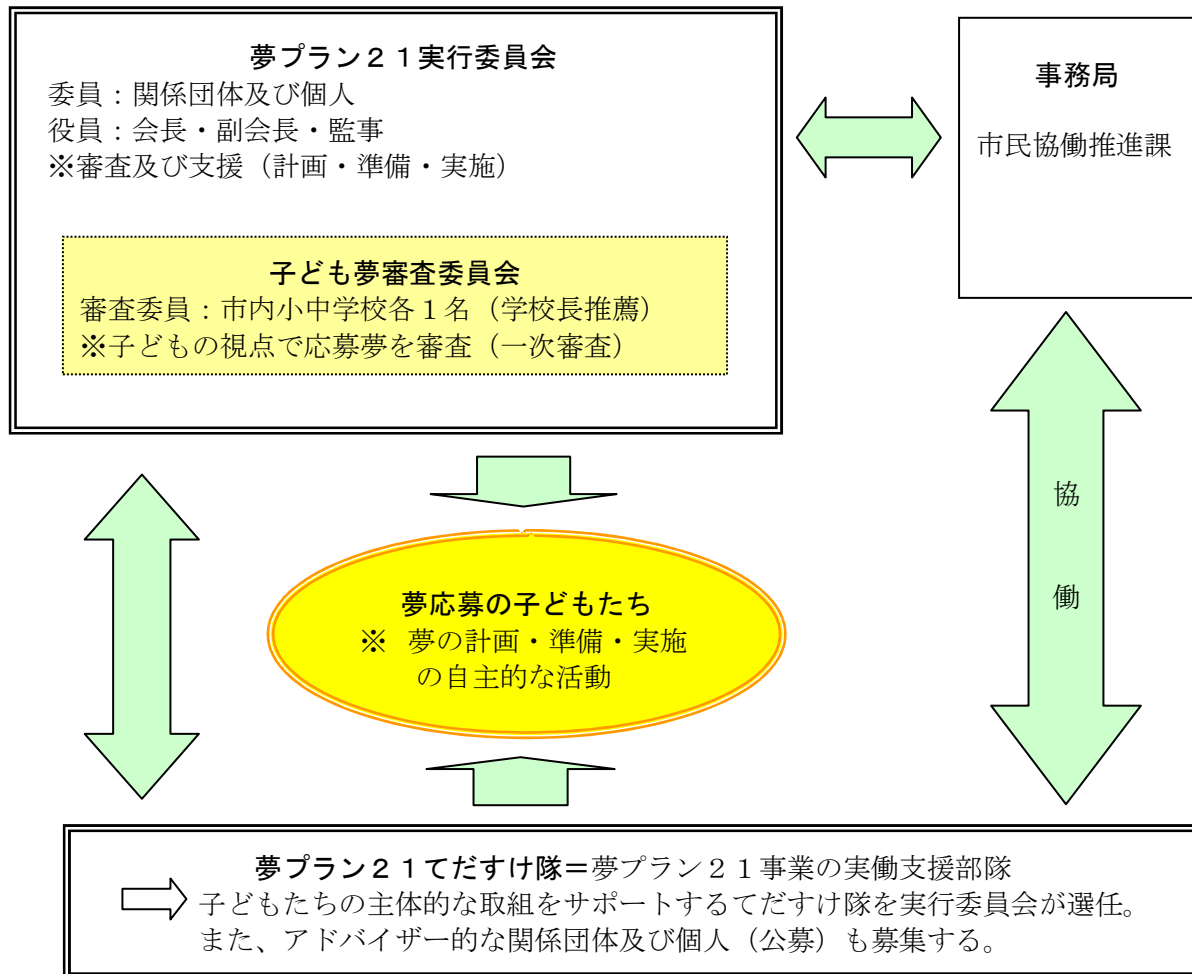
夢プラン21実行委員会

会長 宮原孝二

資 料

- (ア) 夢プラン2.1 実行委員会概念図
- (イ) 夢プラン2.1 実行委員会委員名簿
- (ウ) 活動記録 (写真)
- (エ) 夢プラン2.1 サガン鳥栖チャント歌詞

夢プラン21 実行委員会概念図



夢プラン21 実行委員会委員名簿（24年度体制）

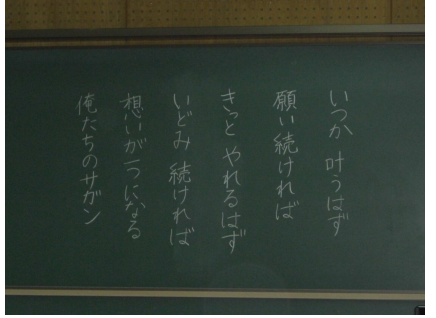
区 分	所 属 及 び 役 職	氏 名
関係団体	鳥栖青年会議所理事長	宮 原 孝 二
	鳥栖市子どもクラブ連絡協議会会長	中 村 圭 一
	鳥栖市区長連合会会長 (委員任期:平成24年4月5日～平成24年6月30日)	小 石 正 明
	鳥栖市区長連合会会長代理 (委員任期:平成24年7月3日～平成25年3月31日)	岸 川 善 憲
	鳥栖地区小中学校PTA連合会	池 田 美 保 子
	鳥栖市校長会（田代小学校長）	柴 田 昌 範
	NPO法人市村自然塾九州塾母	榑 崎 タ キ コ
	子育て支援総合コーディネーター	吉 田 眞 由 美

～田代小学校の子どもたちの活動記録～





～基里中学校の子どもたちの活動記録～





夢プラン21 サガン鳥栖チャント



制作：基里中学校

～ We love サガン ～

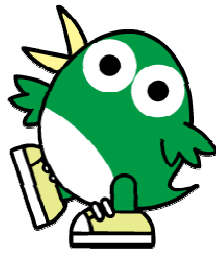
サ・ガ・ン・鳥栖 We love!
 サ・ガ・ン・鳥栖 We love!
 サ・ガ・ン・鳥栖 We love!
 サ・ガ・ン・鳥栖 Woo～

サガン鳥栖 サガン鳥栖
 走れ 叫べ 全力で
 サガン鳥栖 サガン鳥栖
 燃え上がれ サガン鳥栖

～ 俺たちのサガン～

いつか 叶うはず
 願い続ければ
 きっと やれるはず
 いどみ続ければ

想いが一つになる
 俺たちのサガン



平成25年3月